

グループホーム無量荘 運営推進会議

令和8年3月19日(水) 15:00～

参加者：

紺野様(千渡地区民児協会会長)、丸山様(ご家族代表)、塩川様(ご家族代表)
深田様(鹿沼北地域包括)、五月女様(鹿沼市介護保険課)、石綱

運営推進会議議事録(発言要旨・整理案)

1. 開会・管理者挨拶

管理者より開会の挨拶を行い、令和8年2月より管理者に就任し、就任後1か月半余りが経過したことの報告があった。

2. 入居者の状況について

現在、1階9名、2階9名の計18名で満床であることが報告された。

入居者の年齢構成については、1階は90代6名、80代1名、70代1名、60代1名、2階は100歳1名、90代5名、80代3名であり、非常に高齢の方が多く生活されている実態が共有された。

そのうえで、管理者より、生活の不活発化による心身機能低下を防ぐ視点は重要である一方、入居者それぞれが歩んできた人生や、今をどのように過ごしたいかという思いにも十分目を向ける必要があるとの考えが示された。

健康維持や食事、活動への支援が、職員側の価値観の押し付けにならないよう留意し、「何をするか」だけでなく、「どう一緒に過ごすか」を大切にしたい旨の説明があった。

3. 職員体制について

総職員数は26名であり、新たに週4日勤務の職員が入職したことが報告された。

また、1月に受け入れていた派遣職員は契約終了となったことが報告された。

研修については、ハラスメント防止対策研修、感染症及び食中毒の発生予防・まん延防止に関する研修を実施していることが報告された。

24時間365日体制の施設であるため、職員全員が一斉に集合して研修を受けることが難しいことから、法人契約しているオンライン研修システムを活用し、各自が動画視聴後に研修報告書を提出する方法で研修機会を確保しているとの説明があった。

4. 事故報告について

1 階入居者において転倒事故が発生したことが報告された。

朝食時の声かけを行った際、本人はベッド端座位で靴を履こうとしていたが、かかとが入りにくく一度立ち上がって履き直し、その後再度ベッドに座ろうとした際に姿勢を崩し、ずり落ちる形で転倒した。左臀部から尻もちをつき、その際にテレビ台へ頭部も接触した。

転倒後、意識は清明で会話は可能であったが、左臀部に強い痛みを訴えたため、骨折の可能性を考慮し、家族へ連絡のうえ救急搬送を行った。

管理者からは、事故防止に努めていても起こりうるのが事故であり、その際には初動対応が極めて重要であること、今回も本人の安全を最優先に判断し救急要請を行ったこと、また事故後は環境整備の徹底、着座動作時の見守り強化、職員間でのリスク共有と再発防止策の確認を行っていることが説明された。

これに対し、出席した行政担当者からも、事故そのものを防ぐ努力は前提としつつ、発生時の速やかな家族連絡や医療対応、以後の経過観察と職員間共有が重要であるとの意見が述べられた。

5. 今後の予定・活動報告について

今後の予定として、3月24日に集団指導への参加、3月31日に避難訓練を実施予定であることが報告された。

また、職員からの提案により、入居者と一緒にパフェ作りを行う企画を進めていることが共有された。

日常の活動としては、施設内での生活の様子を写真等で記録しており、生活上の役割や楽しみのある活動を大切にしていることが報告された。

卓球を楽しまれている様子、さくらんぼの花を眺める花見、職員の子どものとの交流、訪問診療時の様子などが紹介された。

また、現在の運営上の課題として、職員の家族内感染によるインフルエンザ罹患が続き、結果として職員の休務が長期化しやすいことが挙げられた。

職員を守りながら現場も維持していく必要がある、そのために管理者自身が現場をカバーしながら、介護技術や支援の考え方を浸透させていく必要性を感じているとの説明があった。

6. 家族会について

前回会議で話題となった家族会について、アンケート結果の報告があった。

対象18名中12名から回答があり、回答率は67%であった。

内訳は「ぜひ参加したい」2名、「内容によっては参加したい」6名、「参加は難しいが開催には賛成」1名、「希望なし」2名、未回答1名であり、内容次第では参加したい層を含めると多くの家族が開催に前向きであることが確認された。

希望内容としては、運営状況の説明、活動報告、生活の様子の共有、意見交換等が多く挙げられた。開催希望日時は平日午後または土日祝日午後が多かった。

管理者からは、当面は会長等を置いて組織化するのではなく、まずは1回から数回程度、試行的に「気軽に集える場」として始めたいとの提案があった。

資料配布や意見交換を行い、開催後に再度アンケートを取りながら、負担の少ない継続可能な形を模索したいとの説明があった。

家族代表からは、「最初から組織化すると負担が大きくなり続けるため、まずは肩肘張らず顔合わせや情報交換ができる場でよいのではないか」「施設にとっても家族にとっても互いの思いを受け止め合う大切な機会になるのではないか」などの意見が出された。

また、行政担当者からも、「最初から大きく構えず、息切れしない形で継続していくことが大切である」との助言があった。

7. 家族向けオフィシャルサイト開設について

管理者より、家族向けのオフィシャルサイトを開設したことが報告された。

QRコードを読み込むことで、ご家族専用ページにアクセスできる仕組みであり、「お知らせ」「1階の様子」「2階の様子」「行事予定」などを掲載し、家族に施設での様子を見ていただけるようにしたいとの説明があった。

このサイトは、郵便事情による請求書やお知らせの到着遅延を補う役割も想定しており、理美容料金改定などの細かな連絡事項も掲載できるようにしたいとのことであった。

また、将来的には職員が会社用スマートフォンや各階のパソコンから更新できるよう、標準化された運用体制を整えることを目標としていると説明された。

個人情報保護については、家族限定公開とし、写真掲載等についても事前同意を前提に慎重に進める考えが示された。

家族代表からは、「日頃なかなか見られない生活の様子を都合のよい時間に確認できることは大変ありがたい」「継続してもらえると安心につながる」との前向きな意見があった。

また、委員からも「電子化は時代の流れであり、よい方向に進めていくべき」との意見があった。

8. 記録の電子化について

管理者より、タブレットを活用した記録システムの導入状況について報告があった。

体温・血圧・食事量・水分量等の記録を直接入力できるようになり、転記作業の負担が軽減されたこと、音声入力機能により記録作業が効率化していること、結果として職員が入居者と関わる時間を確保しやすくなったことが説明された。

委員からは、電子化を進めるなかで職員の戸惑いもあったのではないかと質問があり、管理者からは、新しいことへの抵抗感は当然あるが、導入の目的を丁寧に伝え、「職員の仕事が楽になり、本来向き合うべき介護に時間を使える」ことを共有しながら進めているとの回答があった。

9. 訪問診療について

訪問診療については、大沼医師が月 1～2 回訪問しており、必要時や看取り期にも対応いただいていることが報告された。

急変時にはクリニックで待機するなど、手厚く対応いただいていることへの感謝が共有された。

10. 来年度の運営推進会議開催予定

来年度の開催予定について、以下の日程で実施予定であることが報告された。

いずれも水曜日 15 時開始予定。

- 5 月 20 日
- 7 月 22 日
- 9 月 16 日
- 11 月 18 日
- 1 月 20 日
- 3 月 24 日

変更の可能性はあるが、現時点での予定として事前共有する旨説明があった。

11. 閉会

管理者より、今回報告した取り組みについては、継続してこそ信頼につながるため、無理のない体制を整えながら進めていきたいとの挨拶があり、閉会となった。

グループホーム無量荘 運営推進会議

令和8年3月19日（木） 15:00～

参加者：

<ご入居者状況>

- 1階 9名 平均要介護度 2.2 (2月) ⇒2.6 (3月)
年齢：90代 (6名) 80代 (1名) 70代 (1名) 60代 (1名)
- 2階 9名 (+2) 平均要介護度 2.6 (2月) ⇒2.0 (3月)
年齢：100代 (1名) 90代 (5名) 80代 (3名)

入居：3月6日、3月16日

計 18名

令和8年3月18日現在

※当ホームでは、90歳を超えるご入居者が多く生活されています。生活の不活発化による心身機能の低下はできる限り防いでいく必要がありますが、一方で、その方が歩んでこられた人生や、今をどう過ごしたいかという思いにも十分に目を向けることが大切です。健康や食事、活動への支援が、時に職員側の価値観の押しつけにならないよう留意し、ご本人の個別性を丁寧に理解しながら、「何をするか」だけでなく「どう一緒にいるか」を大切にされた支援を行ってまいります。

<職員体制について>令和8年3月現在

- ・職員総数 26名
- ・週4日スタッフ (2階) 入職
- ・派遣スタッフ 3月5日終了
- ・ハラスメント防止対策研修実施
- ・感染症及び食中毒の発生の予防及びまん延防止研修実施

<事故報告>

・起床時、朝食の声掛けを行った際、本人はベッド端座位となり靴を履こうとされたが、かかとが入りにくく一度立位となり履き直された。その後再度ベッドへ座ろうとした際、布団によりベッド端が見えにくい状態であったため、臀部が十分に乗らずバランスを崩し転落した。転落時に左臀部から尻もちをつき、頭部左側をテレビ台に打撲した。意識は清明で会話可能であったが、左大腿部に強い痛みを訴えたため、バイ

タル確認後、骨折の可能性を考慮し家族へ連絡のうえ救急搬送を実施し、医療機関にて対応した。本件を受け、ベッド周囲の環境整備の徹底、靴の着脱時の見守り強化、起床直後の動作への声掛け支援を行うとともに、同様のリスクを有する入居者への対応を職員間で共有し、再発防止に努めている。

<活動予定>

- ・3月19日(木) 運営推進会議
- ・3月24日(火) 集団指導 (鹿沼市)
- ・3月31日(火) 避難訓練 パフェづくり (1.2階合同)

<活動報告>





<家族の会について…アンケート結果報告>

1. アンケート概要

- 対象：入居者家族 18名
- 回答：12名（回答率 67%）

2. 家族会開催の意向

- 是非参加したい：17%（2名）
- 内容によっては参加：50%（6名）
- 参加は難しいが開催には賛成：8%（1名）

- 希望なし：17%（2名）
- 未回答：8%（1名）

▶ 「内容によっては参加」が半数を占める結果となった

3. 結果まとめ

- 「是非参加」＋「内容によっては参加」
→ 8名（67%）
- 「参加困難だが開催賛成」まで含めると
→ 9名（75%）

▶ 多くの家族が家族会開催に前向

4. 家族からの主な希望内容

- グループホームの運営状況の説明
- 日常の活動報告
- 入居者の生活の様子の共有

▶ 「情報共有」へのニーズが高い

5. 開催時期の希望

- 平日午後
- 土日祝日午後

論点：かぞくの会結成について

提案

- 家族会は開催の方向で進める
- まずは年1回、試行的に実施する
- 内容は「運営状況」「日常の様子」「意見交換」を中心に
する
- 開催時間は午後帯で調整
する
- 不参加家族には資料配布
で対応する
- 実施後にアンケートを取り、
次回の方法を見直す

<line オフィシャルサイト(家族限定)>

「ご家族専用サイトの導入について」

1. 導入の背景

現在、グループホーム無量荘では

- 日常の様子をご家族に伝わりにくい
- 面会機会の制限（遠方など）

といった課題があります。そこで、ご家族へ日常の様子を継続的に発信する仕組みとして、**LINE 公式アカウントと連動した「ご家族専用サイト」**を導入を検討しています。

2. 仕組み

ご家族は以下の流れで閲覧できます。

- ① QR コードから LINE 登録
↓
- ② 自動返信で専用サイト URL 受信
↓
- ③ サイト閲覧



3. サイト内容

現在掲載している内容は以下です。

- 施設からのお知らせ
- 入居者様の日常の様子（写真）
- 行事予定
- 面会に関するご案内

4. 期待される効果

本取り組みにより、

- ご家族の安心感の向上
- 施設の透明性の向上
- 信頼関係の強化

が期待されます。

5. 個人情報への配慮

掲載にあたっては以下を徹底します。

- ・ ご家族限定でのアドレスの配布
- ・ 事前同意の範囲内での掲載

<意見交換>

<その他>